

連結財務諸表(要旨)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業収益 Point ①	683,785	706,689
営業原価	645,448	662,442
営業総利益	38,337	44,247
販売費及び一般管理費	20,336	23,303
営業利益 Point ②	18,000	20,943
営業外収益	1,163	1,113
営業外費用	537	1,140
経常利益	18,627	20,916
特別利益	54	228
特別損失	89	950
税金等調整前四半期純利益	18,592	20,193
法人税等	8,707	8,514
四半期純利益	9,884	11,679
非支配株主に帰属する四半期純利益	125	124
親会社株主に帰属する四半期純利益 Point ③	9,759	11,554

ポイント解説

Point ①

デリバリー事業においては宅急便の取扱数量が通販市場の拡大や「宅急便コンパクト」「ネコポス」のご利用拡大により増加、ノンデリバリー事業においては既存サービスが概ね好調に推移したことにより、営業収益は前年同期に比べ3.3%増加し、7,066億89百万円となりました。

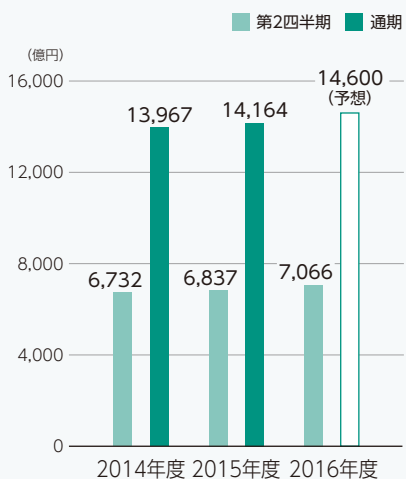
Point ②

営業利益は前年同期に比べ16.4%増加し、209億43百万円となりました。

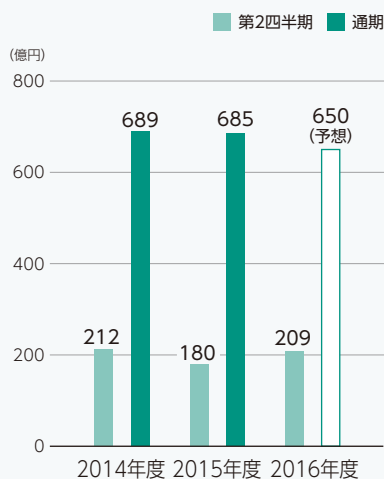
Point ③

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ18.4%増加し、115億54百万円となりました。

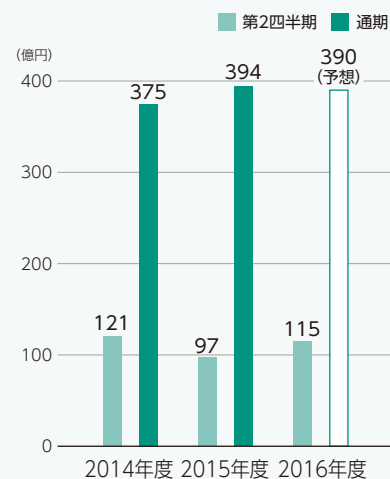
営業収益



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2016年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2016年9月30日
[資産の部]		
流動資産	583,982	559,393
固定資産	505,454	521,584
有形固定資産	405,641	407,025
無形固定資産	20,960	22,526
投資その他の資産	78,851	92,032
資産合計 Point ①	1,089,436	1,080,977
[負債の部]		
流動負債	348,097	345,893
固定負債	197,483	188,472
負債合計 Point ②	545,581	534,365
[純資産の部]		
株主資本	537,348	542,924
その他の包括利益累計額	473	△2,387
非支配株主持分	6,034	6,074
純資産合計 Point ③	543,855	546,611
負債純資産合計	1,089,436	1,080,977

ポイント解説

Point ①

前期下期と今期上期の繁閑の差により受取手形及び売掛金が52億27百万円減少したことなどに伴い、総資産は前連結会計年度末に比べて84億58百万円減少し、1兆809億77百万円となりました。

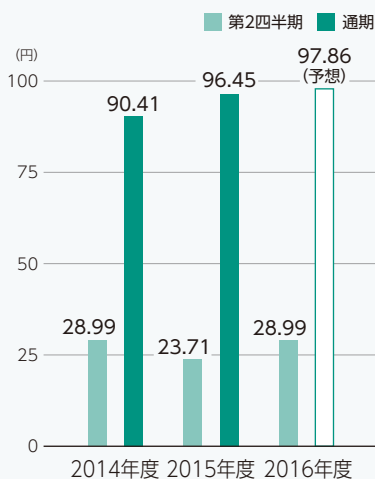
Point ②

支払手形及び買掛金が89億45百万円、法人税を納付したことにより未払法人税等が66億98百万円減少したことなどにより、負債は前連結会計年度末に比べ112億15百万円減少し、5,343億65百万円となりました。

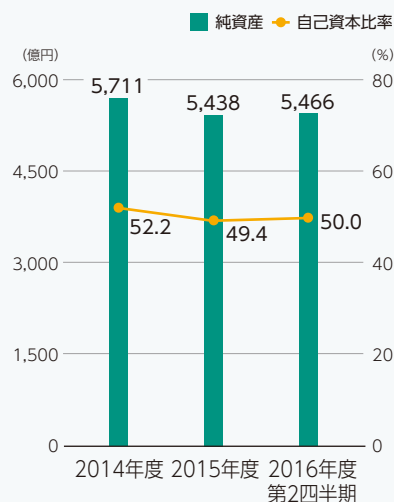
Point ③

親会社に帰属する四半期純利益を計上したことに加え、剰余金の配当を実施したことなどにより、純資産は前連結会計年度末に比べ27億56百万円増加し、5,466億11百万円となりました。

1株当たり四半期(当期)純利益



純資産/自己資本比率



中間配当の支払につきまして

- ・中間配当金
1株につき 金13円
- ・効力発生日
ならびに支払開始日
2016年12月9日(金)

中間配当金お支払い関係書類は12月8日(木)に発送予定です。

連結財務諸表(要旨)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	△14,330	25,611
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△23,085	△38,699
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△11,862	△9,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110	△2,834
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49,388	△25,495
現金及び現金同等物の期首残高	247,051	249,261
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	213	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	197,875	223,766

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

ポイント解説

Point 1

未払消費税等の増減額、仕入債務の増減額が増加したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて収入が399億41百万円増加し、256億11百万円の収入となりました。

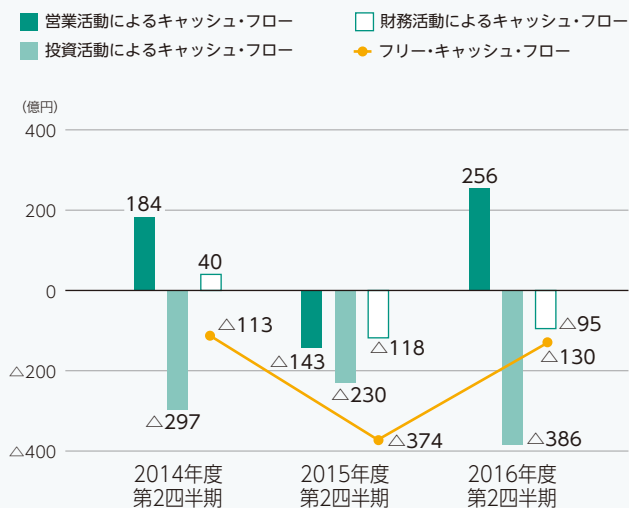
Point 2

成長投資に伴う支出が増加したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて支出が156億13百万円増加し、386億99百万円の支出となりました。

Point 3

自己株式の取得による支出が減少した一方で、借入金の収支による支出が増加したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて支出が22億89百万円減少し、95億72百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー



用語解説

キャッシュ・フローについて

○営業活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動から獲得したキャッシュから仕入れや事業活動に必要な諸費用を差し引いて、本来の営業活動から得られた金額を示します。

○投資活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動を維持拡大するための設備投資や資産の売却、資金の貸し付けや回収など、会社の将来を考えた諸活動にどの程度の額を回したのかを示します。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどの程度の資金調達をしたのか、もしくは余剰資金がある場合はそのうちの程度の額を借入金等の返済に回したのかを示します。